

玉井拓之さん（電気情報工学専攻・博士前期課程 1 年）が一般社団法人電子情報通信学会 2016 年安全・安心な生活と ICT 研究会 「研究奨励賞」を受賞しました。

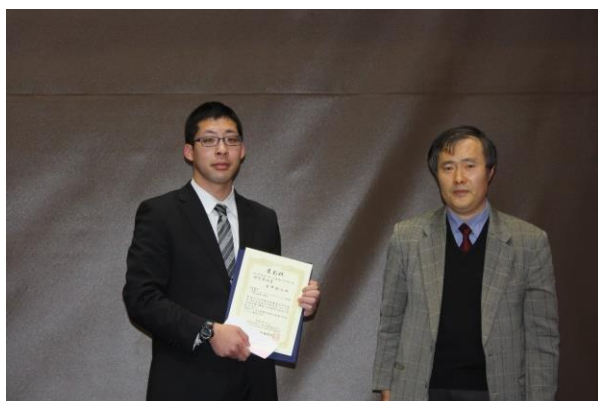
平成 29 年 3 月 2 日、新潟大学五十嵐キャンパスライブラリーホールで行われた電子情報通信学会（以下、信学会）の安全・安心な生活と ICT 研究会において、大学院自然科学研究科電気情報工学専攻情報工学コース・博士前期課程 1 年の玉井拓之さんが 2016 年安全・安心な生活と ICT 研究会 「研究奨励賞」を受賞しました。

本賞は、安全・安心な生活と ICT 研究専門委員会が主催、共催、または、併催する研究会、シンポジウム及び大会において発行される概要集に掲載された論文ならびに論文概要の中から、35 歳以下の学生および若手研究者を対象に毎年優れた発表数件が選定されるものです。受賞対象となった研究は、都市部などを対象にした災害時の大規模屋外避難シミュレーションにおいて人の心理要素や属性を導入したもので、様々な状況を想定した避難状況を計算機上で再現することにより都市計画等に資するものです。本研究は、国立研究開発法人情報通信研究機構との共同研究により実施され、その成果を 2016 年信学会ソサイエティ大会で発表しました結果、今回の受賞につながりました。今後、地域の実情にあったシミュレーション環境を構築し、地域防災に貢献できるように研究を進めていく予定です。

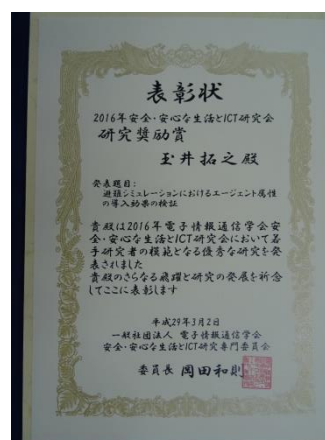
受賞発表：避難シミュレーションにおけるエージェント属性の導入効果の検証

著者：玉井拓之・山崎達也（新潟大）・大和田泰伯・服部聖彦（NICT）

リンク：http://www.ieice.org/ess/ictssl/award_report.html



授賞式の様子



表彰状